



境一中恩師・内海孝至先生による贈る言葉
境二中恩師・真中実先生による贈る言葉
新成人にエールを贈る橋本町長



ピアノ伴奏の金久保史史さん



式典司会の鈴木亜沙香さんと土屋諄真さん

謝 辞

成人式運営委員会
藤見優希也さん



私たちは本日、成人としての自覚を持つべき区切りの日を迎え、社会からは大人と見なされて歩んでいくこととなります。

これからの私たちの発言や行動は、今まで以上に大きな責任と影響を伴うこととなりますが、現実には、これまでとは異なる立場や周囲からの期待に戸惑うこともあるかと思えます。しかし、それは成人として堂々と生きていくための通過点であり、乗り越えていかなければならないことだと思えます。

そのためのひとつとして考えられることは社会問題や政治への若者の無関心、不参加が問題視される今の社会の中において、自ら耳を傾け、積極的に関わり、社会の一員としての責任を果たしていくよう努力を続けることです。今後とも皆様のご指導、ご助言をいただきますよう改めてお願い申し上げます。

今日のこの日を迎えるにあたり、これまで私たちの成長を見守り支えてくださった家族、友人、地域の皆様、時には厳しく、時には温かくご指導くださった先生方、そして、ふるさと境町に心より感謝申し上げますとともに、今日の新たな決意を胸に刻み、日々精進していくことをお誓いし、成人者を代表しての謝辞といたします。本日は誠にありがとうございました。(謝辞内容より抜粋)

新成人の皆さんへミニ達磨をプレゼント



サカイチ達磨を持って記念撮影



▼記念撮影用に様々なフォトプロップスが用意されました

▲インスタグラムのパロディパネルで記念撮影し境町をPR



久しぶりの再会で笑顔の皆さん



お揃いの扇子を用意した成人者も



お祝いの花束を受け取った皆さん



元気いっぱいの男性陣

未来へはばたけ! 新成人

1月8日(日)、境町中央公民館にて、「平成29年境町成人式典」が開催され、華やかでフレッシュな新成人305名が境町から誕生しました。大人への第一歩を歩み始めた皆さんの今後の活躍を期待しています。

式典に参加した新成人全員での記念撮影



305名の新成人が誕生

1月8日(日)、境町中央公民館において、成人としての新たな旅立ちを祝う「平成29年境町成人式典」が開催されました。

平成29年の境町の新成人は、男性165人、女性140人の合計305人。この日は、約7割近い231人の新成人が集まり、会場は華やいだ雰囲気になりました。

新成人が生まれた平成8年4月から平成9年3月までの主な出来事として、8月にアトラクションピックが開催され、日本は柔道男子の野村忠宏選手の金メダルをはじめ、3個の金メダルと6個の銀メダル、5個の銅メダルを獲得しました。11月に当時大ヒットを記録し、入手困難が続いた携帯型ゲーム「たまごっち」が発売され、12月には、広島原爆ドームと厳島神社の世界文化遺産認定などのニュースが話題となりました。

また、町内では、4月に境町公共施設管理公社が設立され、10月に道の駅さかいが供用を開始し、11月には境町ミニシルバー人材センターが設立されるなど様々な事

業が行われました。

式典では、橋本町長を始め、多くの来賓の方々が参列され、お祝いの言葉を述べられました。また、中学時代の恩師である、内海孝至先生、真中実先生から、かつての教え子たちへ贈る言葉が述べられました。

そして、式典後のアトラクションとして、会場を役場4階に移し、自転車やテレビ、ギフト券といった豪華商品が当たる抽選会が行われ、新成人の皆さんは大いに盛り上がりました。

久しぶりの旧友との再会や、懐かしい思い出が詰まった会場の雰囲気は、成人を祝う多くの笑顔と元気な声で溢れていました。



成人式運営委員会の皆さん